

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

令和6年(2024年)1月号:岩谷橋 二戸市 完成 ▲



美しい
県土づくりNEWS

2024年
1月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第233号
令和6年1月31日発行
編集 県土整備企画室

目次

- 2 岩谷橋と橋詰広場の完成記念イベントを開催！
- 5 第18回土木合同セミナー「流域治水を考える」を開催しました！
- 7 京都工学院高校の生徒に「岩手県の震災復興」の取組等について紹介しました！
- 8 令和6年能登半島地震からの生活再建に向けた支援を行っています
- 10 優良県営建設工事等の表彰式を行いました
- 13 令和5年度岩手県まちづくりセミナー「色彩の観点からの景観まちづくり」を開催しました
- 15 岩手県県土整備部における「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の実施状況・事例等を紹介します！

三陸復興

あらせかみたおもて
都市計画道路荒瀬上田面線
岩谷橋と橋詰広場の完成記念イベントを開催！



「四代目岩谷橋」
記念撮影



橋詰広場のテープカット



橋名板のお披露目

令和5年12月25日(月)、岩谷橋の車道部と橋詰広場が完成したことを節目として完成記念イベントを開催しました。

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

令和6年(2024年)1月号:岩谷橋 二戸市 完成 ▲

都市計画道路荒瀬上田面線
岩谷橋と橋詰広場の完成記念イベントを開催！

県北広域振興局土木部二戸土木センター

令和5年12月25日(月)、都市計画道路荒瀬上田面線岩谷橋の車道部が完成し、右折信号機付きの右折レーンが運用開始されたことや、橋詰広場が完成したことを節目として、完成記念イベントを開催しました。

イベントの様子

当日は、地域の皆様を含め30名以上の方々が参集し、県北広域振興局長、二戸市長、県議会議員、市議会議員、施工業者によるテープカット、県と二戸市が協力して整備した橋詰広場、創立150周年を迎えた福岡小学校の児童の皆様が揮ごういただいた橋名板をお披露目しました。



坊良県北広域振興局長あいさつ



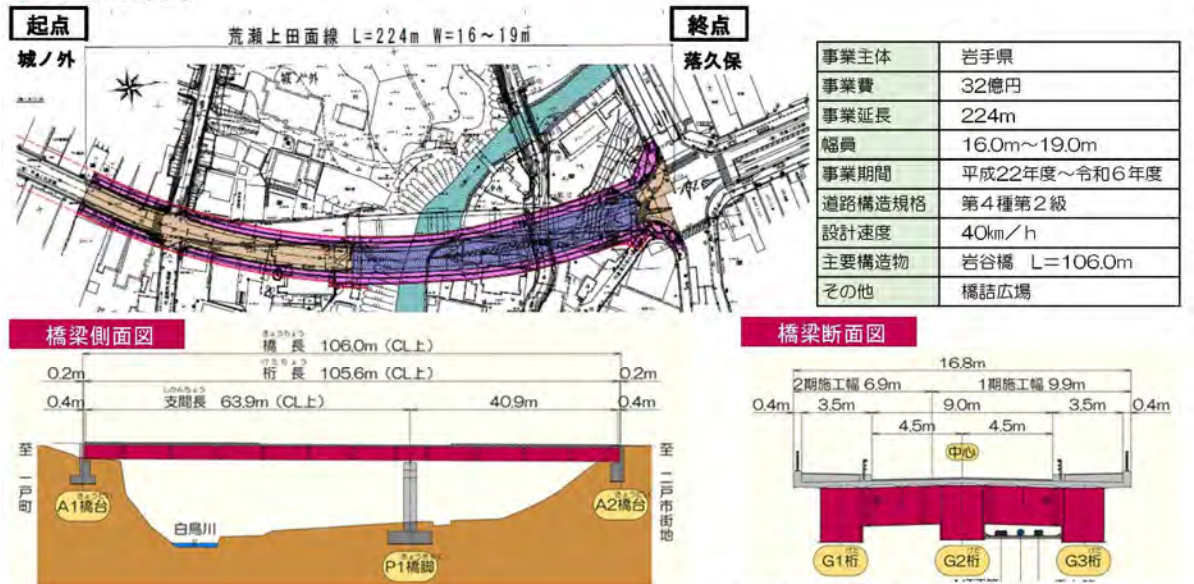
藤原二戸市長祝辞



五日市県議会議員祝辞

事業概要

岩谷橋と接続する落久保交差点は、二戸市の東西と南北の交通軸が交差する交通量の多い交差点ですが、右折レーンがなく、歩道も狭小であるため、岩谷橋の架替及び前後道路の線形改良、拡幅、交差点改良により、安全で安心な通行空間の確保と都市内道路の機能向上を図るため、平成22年度から事業に着手しました。



※ 交差点部は幅員 19.0m (右折レーンの新設)

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

令和6年(2024年)1月号:岩谷橋 二戸市 完成 ▲

施工状況

橋の架け替えに当たって、車両や歩行者の通行を確保する必要がありますが、現地は迂回のための仮橋設置が困難な条件であるため、部分的な仮橋により通行を確保するなど、片側ずつ切り替えながら施工を進める必要があることから、難易度が高く、施工に時間がかかる工事となりました。

① 仮橋の設置 (2018. 5)



② 橋桁の設置【1期施工】 (2020. 9)



③ 旧橋と仮橋の撤去、橋台・橋脚の設置 (2022. 9)



④ 完成形 (施工中)【2期施工】 (2023. 3)



景観への配慮

計画策定の段階から「景観懇談会」や「詳細デザイン検討委員会」を始め、地域の皆様からご意見をいただき、「自然や歴史を感じながら歩いて渡る橋」をコンセプトとして、橋桁を二戸市章と同じ「古代朱(こだいしゆ)」色に塗装したほか、景観に配慮した高欄、照明灯、親柱としています。

橋桁を二戸市章と同じ「古代朱」色に塗装



《二戸市の市章》
二戸市の「二ノへ」をモチーフに、豊かな自然と人間の融和、歴史文化の深さと安心が感じられる形と色彩により、活力のある安全安心な県北の拠点都市・二戸市の飛躍発展を表現しています。

大正時代の親柱を再現



(提供) 二戸市歴史民俗資料館

転落防止柵「木目調」の手すりを設置



歩道舗装には平板ブロックを使用



和風吊り下げ形状の歩道照明灯



平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

令和6年(2024年)1月号:岩谷橋 二戸市 完成 ▲

橋詰広場

岩谷橋は、岩谷観音や奥州街道の上を通過し、橋上は折爪岳や馬淵川の眺望地点であることから、県と二戸市が協力し、岩谷橋の袂に、岩谷橋や周辺地域の歴史や観光の魅力を発信する橋詰広場を整備しました。

広場には、旧橋の親柱や二戸市ゆかりの作家による歌碑、岩谷橋の歴史や周辺の観光施設などを紹介する案内板などを設置しています。



橋名板の揮ごう

岩谷橋の高欄に取り付けられる4枚の「橋名板」は、創立150周年を迎えた福岡小学校の児童（5・6年生）に揮ごうしていただきました。



おわりに

地域の皆様により一層愛される岩谷橋として、事業着手から約 14 年の歳月をかけ整備を進めてきました。

本工区の整備に当たり、貴重な土地を提供いただいた地権者の皆様、二戸市や福岡小学校をはじめ地元関係機関・団体の皆様、施工業者の皆様に改めて感謝を申し上げます。

～旧岩谷橋の歴史、景観検討の様子や石積みの調査～

初代岩谷橋（明治21年）から3代目（令和3年10月）までの歴史、景観検討の様子や旧岩谷橋の石積みの調査については、美しい県土づくりニュース令和4年5月号に掲載しています。

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kendoseibi/news/1056043/1056775.html>